

今春の新卒採用数23社減

本社調べ 来春計画は増加見込み

主要ゼネコン34社

2023年春卒業予定の大学生らを対象にした企業説明会や採用情報発信が1日に解禁された。日刊建設工業新聞社が主要ゼネコン34社を対象に実施した人材採用アンケートによると、今春入社予定の新卒（大学・大学院）社員は前年に比べ84人減の計3267人となる見通し。技術系が82・4%を占める。3年目を迎えたコロナ下での採用活動は、オンラインを駆使して各社が優秀な人材確保に注力している。

低下した。

今春の採用状況を見ると、大成建設（21人減）や三井住友建設（19人減）、熊谷組（同）などが前年を下回った。「受注・工事消化が可能な人員を維持するため」（戸田建設）や「長期採用人員計画を基に年度ごとの採用人員の増減を見直した」（鴻池組）など、年齢層別の人員構成などを踏まえ判断している社が多い。鹿島（45人増）は「社員の年齢構成のバランスを取り、世代間の技術継承を円滑に行うため」と採用数を増やした。

動の取り組みでは、ほとんどの企業が説明会や選考にオンラインを活用していると回答した。

採用活動では「オンライン以外の学生との接触機会を設けることが課題」（戸田建設）、「学生との深い接触が難しく、ミスマッチによる若年層の退職者数増加が懸念」（ピーエス三菱）など、オンラインの普及に伴う直接的な接触機会の減少を懸念する声が多かった。

アンケートは1月18日～2月7日に実施した。22年4月の採用数が前年実績から増えたのは11社、23社が減少となった。22年採用の当初計画を回答した20社で見た場合、計画の達成度を示す充足率は6社が100%を超え、計画通り人員が確保できた。計画を下回ったのは14社。21年の充足率との比較は14社で充足率が

踏まえ判断している社が多い。鹿島（45人増）は「社員の年齢構成のバランスを取り、世代間の技術継承を円滑に行うため」と採用数を増やした。

ゼネコン各社の人材採用状況（新卒）

	2022年度		2023年度(予定)	
	総数	(計画)	総数	技術系
清水建設	338	(—)	278	(—)
鹿島	304	(239)	244	(204)
大林組	295	(—)	246	(—)
大成建設	276	(—)	225	(—)
竹中工務店	193	(191)	159	(154)
五洋建設	180	(—)	156	(—)
戸田建設	115	(—)	95	(—)
西松建設	110	(103)	97	(92)
奥村組	107	(109)	84	(85)
前田建設	106	(107)	93	(97)
熊谷組	101	(132)	80	(109)
長谷工コーポレーション	101	(100)	66	(65)
三井住友建設	99	(—)	86	(—)
東急建設	95	(—)	82	(—)
フジタ	93	(—)	79	(—)
鴻池組	78	(76)	60	(64)
安藤ハザマ	69	(—)	60	(—)
鉄建建設	56	(75)	47	(65)
東亜建設工業	53	(—)	49	(—)
佐藤工業	46	(—)	34	(—)
日本国土開発	44	(57)	39	(51)
東鉄工業	42	(56)	38	(52)
飛鳥建設	38	(—)	34	(—)
東洋建設	38	(70)	29	(62)
浅沼組	36	(45)	29	(40)
大本組	36	(40)	24	(32)
竹中土木	35	(38)	28	(33)
大日本土木	33	(29)	27	(24)
大豊建設	31	(—)	24	(—)
青木あすなろ建設	29	(45)	26	(40)
若築建設	29	(—)	21	(—)
ピーエス三菱	25	(35)	22	(31)
ナカノフドー建設	20	(27)	17	(—)
松井建設	16	(30)	13	(25)

23年春の採用計画は19社が回答した。このうち22年の当初計画を回答した17社で人数を比較すると、17社の合計は79人増の1356人となった。新しい採用活

21年建設業入職者 3800人減少

厚生労働省雇用動向調査
女性は2700人増

厚生労働省がまとめた2021年（1～12月）の主要産業別の雇用動向調査結果によると、建設業に入職した人の数は年間で27万3300人となり、前年より3800人減った。離職した人の数は26万0500人で1400人減少。入職者数と離職者の差し引きでは入職者の方が1万2800

人上回った。

雇用動向調査は建設業など主要産業16業種で5人以上が働く事業所のうち、無作為に抽出した1万5000事業所に行った。

建設業の入職者数の内訳は、男女別で男性21万3800人（前年比6500人減）、女性5万9500人（2700人増）。入職前に一定期間以上の就業経験を経て建設業に転職した人の数は、男性14万0100人（3万0100人減）、女性4万4900人（2800人増）となった。

建設業の離職者数の男女別内訳は、男性20万1900人（1万人減）、女性5万8600人（8600人増）。